

藤ノ森だより 特別号③



平成28年3月22日

京都市立藤ノ森小学校

校長 伊藤 陽一

☎ 075 (641) 6305

FAX 075 (641) 7135

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-s/>

平成27年度後期学校評価の結果

2月に、実施した「学校評価」についての結果がまとまりました。その結果の概要と本校の子どもたちの状況をお伝えします。

確かな学力

保護者アンケートの「子どもが、基礎的・基本的な学力を身につけること」は「出来ている」「よくできている」と「大体出来ている」を合わせた値、以下同じ)という回答が86.6%（前期83.8%）でした。昨年度の同時期（82.0%）よりも学力がついてきていると考えていただいているようです。「子どもが、しっかり話を聞き、しっかりと話すこと」の回答は「出来ている」が84.7%（前期79.5%）でした。（児童は「先生や友達の話をしっかり聞き、しっかり話していますか」84.5%（前期85.1%））これも保護者の方はよくなっていると考えていただいているようです。また、「子どもが、家で計画的に学習していること」の「出来ている」と回答したのは保護者67.7%児童66.2%（前期保護者60.9%児童72.3%）でした。さらに、「子どもが日ごろから読書をしていますか」の質問も、「出来ている」が保護者49.1%児童68.1%（前期保護者46.0%児童70.7%）でした。保護者も児童も家庭に帰ってからの学習や読書が不足しているという考えのようです。その日学習したことを振り返ること、そして疑問を感じることで次の学習がより良いものになっていきます。また、読書をしていくことで見



方・考え方方が広がり、自分の世界を広げていくことができます。基礎的・基本的な学力がつき、話を聞いたり話したりする力がついてきているので、帰宅後、自分が自由に使える時間を1日の学習を振り返り、自分の考えをまとめ、さらに広げていく時間にしていってほしいと思います。

豊かな心

保護者アンケートで「子どもが、約束やルールを守っていること」の回答は「出来ている」は85.0%，児童は89.1%（前期保護者82.9%児童89.1%）で、かなりの方が出来ていると考えています。また、「子どもが、自分や人、ものを大切にしていること」では、保護者の85.8%，児童の93.1%（前後期保護者82.3%児童91.1%）が「出来ている」と考えています。規範意識は保護者・児童ともにかなり高いものと思われます。しかし、「子どもが、進んで挨拶していること」の項目では保護者72.1%，児童90.7%，地域28.6%（前期保護者88.1%児童69.9%地域66.7%）と保護者・地域が低下しています。



上記3項目とも保護者の意識よりも児童の意識のほうが高くなっています。周りで見ている人よりも自分では規範意識をもって行動しているつもりのようです。しかし、挨拶などは相手に伝わってこそです。きちんと相手に伝えること、誰が見てもきちんとできていると認めてもらえるような行動ができるように指導していきます。しかも、それが学校だけでなく、保護者が見ている時だけでなく、いつでも正しい行動がとれるようになってほしいと思います。ご家庭のご協力をお願いします。

健やかな体

「子どもが、安全に気をつけて生活していること」のでは「出来ている」が保護者 93.5%，児童 94.9%（前期保護者 92.5%児童 91.8%）ととても高い率で出来ていると考えています。ただ、その子ども達の安全確保のために、多くの保護者や地域の方の見守り活動が行われていることに対する感謝の気持ちも育てていきたいと考えています。

「子どもが、早寝・早起き・朝ごはんに気をつけて生活していること」では、「出来ている」が保護者 75.5%，児童 79.9%（前期保護者 74.9%児童 76.6%）でした。「早寝・早起き・朝ごはん」は健康な1日を始めるための基本であると考えています。朝の登校から元気な顔が見られるようにご家庭のご協力を是非お願いします。



コミュニティスクール

保護者に対して「学校が、学級だより・学校だより・ホームページ等で情報発信していること」の項目で出来ているは 97.1%（前期 96.6%）とよい評価でした。特に学校のホームページはよく見ていただき、自由記述欄にも「様子がわかってうれしいです」という意見が多数ありました。また、地域の方に「学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること」の項目は出来ているが 83.3%と、良い評価をいただいている。

今後も保護者や地域の方と連携を取りながら子ども達の健全な育成に努めています。

自由記述より（抜粋）

「夏休み前にも個人懇談会の実施をしていただきたいです。（2年保護者）」個人懇談会は、本年度10月と2月の2回行いました。10月の個人懇談会では前期末の成績について、2月の個人懇談会では、成績のことと来年度に向けての話をさせていただきました。その懇談の時にも、夏休み前の個人懇談の話が出たことがあります。夏休み前に個人懇談を行うことで前期末までにさらなる積上げができる学力の定着に結び付くという主旨でした。2月に懇談を行うことで後期末までに復習を行っている子もいるようです。その主旨を踏まえて、平成28年度は10月の個人懇談を夏休み前に移動させる予定をしています。詳しい日程は、後日お知らせします。ご予定をお願いします。

「家ではできていないことでも、学校では大体できていると懇談で伺いましたので…（後略）。（1年保護者）」この方は、「しっかりと聞きしっかり話すこと」と「約束やルールを守ること」ができるいないと考えておられたようです。家でできないことでも学校では頑張っているということは子ども達によくあることです。その頑張った分、お家では甘えてしまっているということになっているのかもしれません。本来目指すのは、学校でも家庭でも同じように「できる」ようになることです。でも、懇談をしたことで学校だけでも頑張っていることがわかつていただけ、褒めてあげることができたのではないでしょうか。学校と家庭の連携を取り、子ども達の頑張っている姿を認めてあげたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。今後の本校教育活動にいかしていきます。